

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

名称 :	ときわ寮（女子寮）	種別 :	施設入所支援
代表者氏名 :	鈴木 大輔	定員(利用人数) :	50 名
所在地 :	〒 348-0036 埼玉県羽生市大字砂山字下宿22番地	TEL	048-561-2630

③評価実施期間

令和 7 年 7 月 31 日（契約日）～令和 7 年 12 月 25 日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の個別性を重視することや、高齢化等への対応力強化を重要課題として、提供するサービスの質的向上と職員の資質向上を図った。「クレド準備委員会」を設置して「共愛会Credo」の策定を組織的に行った。「共愛会Credo」の策定にあたり職員アンケートを実施し、職員も「共愛会Credo」の策定に参画する形で、「共愛会Credo」の行動基準を明確にした。現在は、「共愛会Credo」等の策定が完了したことを受け、これらに対する職員の理解を深めることにシフトしている（「クレド準備委員会」は、「クレド運営委員会」となっている）。自己評価の「特に評価の高い点」においても、「理念、基本方針がしっかりと周知されていて、全職員でプロフェッショナルを目指している」「法人全体が同じ価値観を共有するために、ミッション、ビジョン、クレドを掲げていて、自分の行動を意識できるように一人ひとりがこれらの内容が書かれたカードを携帯している」「ご利用者様、ご家族様、職員と関わりのある方々との繋がりを大切にし笑顔になることを掲げたクレドが活かされている」等、「共愛会Credo」等の策定と実践を評価する意見が多い。

◇特にコメントを要する点

事業計画（①「共愛会Credo」を活用した職員育成（支援力の向上を含む）を図る、②ICTとアナログを併用する形で組織力の向上（縦横の関係強化）を図る）を、「リーダー会議」や、「運営会議」、「職員会議」等において周知する取り組みを行っているが、自己評価における「事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。」については、「a」が30%にとどまっている（“b”は60%、“c”は10%）。このため、事業計画を職員に周知する更なる取り組みや、職員が事業計画を理解する更なる取り組み等に期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

事業所が進もうとしている方向性を明確に打ち出すこと、伝えることが、スタッフの働きやすさや、モチベーションの向上に繋がるものと再認識し、改善を図っていきたい。

「共愛会Credo」の適切な運用、活用が今後の事業所運営に好影響を与えると考えている。「共愛会Credo」の浸透を図り、共愛会Vision、共愛会Missionの実現に向けて、引き続き取り組んでいきたい。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり